



T O P I C S

先日、芥川賞・直木賞の各受賞作が発表されましたが、子どもの本に与えられる賞も数多く存在します。昨年3月、スウェーデンの児童青少年文学賞であるリンドグリーン記念文学賞を、絵本作家の荒井良二氏が日本人として初めて受賞したのは記憶に新しいところです。

新しい賞もあれば、長く続いている賞もあり、主催団体も、出版社や新聞社、自治体など様々です。また、未発表原稿に限定される賞や刊行された図書に対して与えられる賞、作家個人の功績に対して与えられる賞などの違いもあります。

今回は、2005年中に発表された子どもの本に関する賞の中から主なものを裏面でご紹介します。

子ども図書研究室のテーマ展示

「卒園・卒業と入園・入学の本」(3月上旬まで)
「県内の市・町で作成した子どもの本の紹介リスト」
子ども図書研究室講座「中学生への読み聞かせ」
講師 原田栄子氏 紹介資料

イベント情報

「もじゃもじゃペーターとドイツの子どもの本」

主 催：国立国会図書館国際子ども図書館

日 程：平成18年1月28日(土)～7月2日(日)

休館日：月曜日、国民の祝日・休日(5月5日を除く)、
毎月第3水曜日

時 間：9:30～17:00

会 場：国際子ども図書館 3階本のミュージアム
(東京都台東区上野公園12-49)

問合せ先：国立国会図書館国際子ども図書館

TEL03-3827-2053

新着図書から

『ありがとうのえほん』



フランソワーズ / さく
ながわ ちひろ / やく
偕成社
2005年11月

作者フランソワーズは1961年に亡くなっている。2005年にながわちひろが翻訳した「フランソワーズのえほん」のうちの1冊であり、1947年に書かれたもの。私たちの世界を支えてくれるたくさんのものたちへの感謝の気持ちを、子どもたちにわかりやすく、心楽しく感じられるように、あたたかな絵とシンプルな言葉で、読者に語りかけるスタイルの絵本になっている。この世界にはうれしいことや楽しいこと、好きなものがたくさんあるというフランソワーズの思いが受け取れる。【幼児から】 (栗山)

『わたしたちの帽子』



高楼 方子 / 作
出久根 育 / 絵
フレーベル館
2005年10月

家の改装のため、5年生になる春休みから1か月間だけ、古いビルの家具付の一室で暮らすことになった女の子サキ。部屋のタンスの中で見つけたかわった帽子を被ったサキは、同じ帽子を被った女の子育ちゃんと出会う。育ちゃんの案内で、不思議な雰囲気漂うビルの中をわくわくしながら探検するが、育ちゃんが一緒にいないときは、育ちゃん存在や出来事が、現実なのかわからなくなってくる。

最後にすっきりと種明かしがされるが、余韻も十分残している。【小学校高学年から】 (殿岡)

子どもの本に関する賞 2005年

昨年9月にスロヴァキア共和国において第20回ブラティスラヴァ世界絵本原画展が開催され、酒井駒子氏の『金曜日の砂糖ちゃん』が第3位に当たる金牌を受賞した。48か国、410名の作品2966点の中からの受賞。

ブラティスラヴァ世界絵本原画展は、ポローニャ国際絵本原画展と並ぶ世界規模の絵本原画展。既に出版されている絵本の、原画のみを対象として審査される。過去には瀬川康男氏、中辻悦子氏がグランプリを受賞している。

所蔵資料から

『金曜日の砂糖ちゃん』



酒井 駒子 / 作

偕成社

2003年10月

庭で昼寝をしている「金曜日の砂糖ちゃん」。その姿を眺めにやってくる虫や鳥たちのひとときを幻想的なタッチで描く表題作ほか2編。

あどけない子どもの姿を愛らしく描きながらも、黒を多用した、やや暗いニュアンスのある大人向けの美しい絵本。

2005年中に発表された子どもの本に関する主な賞

賞名	作品
日本絵本賞大賞	『ないた』(中川ひろたか / 作 長新太 / 絵 金の星社)
坪田譲治文学賞	『ペーターという名のオオカミ』(那須田淳 / 作 小峰書店)
講談社出版文化賞絵本賞	『鹿よおれの兄弟よ』 (神沢利子 / 作 G. D. パヴリーシン / 絵 福音館書店)
産経児童出版文化賞大賞	『昔のくらしの道具事典』(小林克 / 監修 岩崎書店)
赤い鳥文学賞	『いちど消えたものは』(李錦玉 / 著 てらいんく)
新見南吉児童文学賞	『雪の林』(やえがしなおこ / 著 菅野由貴子 / 絵 ポプラ社)
棕鳩十児童文学賞	
日本児童文学者協会賞	『4つの初めての物語』(さとうまきこ / 作 杉田比呂美 / 絵 ポプラ社)
日本児童文芸家協会賞	『あした、出会った少年』(越水利江子 / 作 石井勉 / 絵 ポプラ社)
小学館児童出版文化賞	『バッテリー』(全6巻)(あさのあつこ / 作 佐藤真紀子 / 絵 教育画劇)
福島正実記念SF童話賞	『ぼくが地球をすくうのだ』 (石井キヨシ / 作 カワキタカズヒロ / 絵 岩崎書店)
ひろすけ童話賞	『きょうはいい日だね』 (宮川ひろ / さく 藤田ひおこ / え PHP研究所)
五山賞	『てつだいねこ』(紙芝居)(水谷章三 / 脚本 大和田美鈴 / 絵 童心社)
小川未明文学賞大賞	『春への坂道』(志津谷元子 / 著 未刊行)
けんぶち絵本の里大賞	『もったいないばあさん』(真珠まりこ / 作・絵 講談社)
野間児童文芸賞	『なまくら』(吉橋通夫 / 著 講談社)
コールデコット賞	『まんまるおつきさまをおいかけて』 (ケビン・ヘンクス / 作・絵 小池昌代 / 訳 福音館書店)
ケイト・グリーンウェイ賞	『ガリヴァー旅行記 ヴィジュアル版』(マーティン・ジェンキンズ / 再話 クリス・リデル / 絵 原田範行 / 訳 岩波書店)

(鈴木)

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。